

事業番号	13 01 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	電気事業	部局	企業局	課・室	電気事業課			
		実施期間	S33 ~	E-mail	kigyo @ pref.nagano.lg.jp			

1 現状と課題

- ・発電所の平均的な償却年数（建設から40年）を経過する発電所が9箇所あることから計画的な老朽化対策が必要
- ・2050ゼロカーボンの実現に向け、再生可能エネルギーの供給拡大のための新規電源開発を積極的に進め、固定価格買取制度の適用等による経営の安定化に取り組むことが必要
- ・電気事業への理解を深めてもらい、地域に根差した事業の推進が必要

2 事業目的

- ・脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの供給拡大を図るため、新規電源開発及び基幹発電所等の大規模改修を推進
- ・大規模災害等に対応するため、発電所設備の耐震補強工事を実施するとともに、災害時に電力を供給する体制を整備
- ・市町村に対する技術支援、利益の一般会計への繰出し等により、地域への貢献、地域との連携の取組を推進

3 事業目的を達成するための取組

① 未来への投資

- ・新規電源開発の推進
新しい水力発電所の建設7か所（森泉湯川、金峰山川、越百のしずく、湯の瀬いとおしき、中田切川地点、大泉地点）、新規地点の調査

・基幹水力発電所等の大規模改修の推進

- 大規模改修6か所（美和、春近、小洪第3、与田切、豊丘ダム、奈良井）

② 先端技術の大胆な活用・リスクマネジメント

- ・次世代監視制御ネットワークを活用したスマート化の推進（AIを活用した発電所運転管理の最適化）
- ・発電所設備の耐震補強工事の実施

③ 地域への貢献・地域との連携

- ・新規電源開発等を計画する市町村等に対し、調査・設計・建設等の技術支援の実施
- ・水力発電所の自立運転機能を活用した停電時の電力供給に関する実証の推進
- ・「水の恵みを未来へつなぐ交付金」による企業局の発電所立地市町村に対する財政支援の実施
- ・電気事業利益を活用した地域貢献（一般会計への繰出し）の実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①-1	企業局の電力量で賄える県内世帯の割合	%	13.2	13.2	→	13.8	↗	13.9	未達成	再生可能エネルギーの供給拡大を図るため、「長野県公営企業経営戦略」（平成28年2月策定、令和2年度改定）において設定した目標値15%の達成に向けて、R6年度の事業進捗予定に合わせた目標値とする。	
①-2	総発電所数	か所	23	23	→	25	↗	25	達成	再生可能エネルギーの供給拡大を図るため、「長野県公営企業経営戦略」（平成28年2月策定、令和2年度改定）において設定した目標値36か所の達成に向けて、R6年度の事業進捗予定に合わせた目標とする。	
①-3	大規模改修を行う発電所数 （工事着工）	か所	7	7	→	8	↗	7	達成	再生可能エネルギーの供給拡大を図るため、「長野県公営企業経営戦略」（平成28年2月策定、令和2年度改定）において設定した目標値6か所を達成したため、事業進捗予定に合わせた目標を新たに設定する。 ※R6当初予算案、R6年度事業点検のシートに記載したR4・5年度実績が誤りがあったため修正しました（いずれも修正前：6、修正後：7）	
② ③	自立運転可能な発電所立地市町村数	市町村	5	5	→	8	↗	7	達成	エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくりの具現化を図るため、「長野県公営企業経営戦略」（平成28年2月策定、令和2年度改定）において設定した目標値15市町村の達成に向けて、R6年度の事業進捗予定に合わせた目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	☆再生可能エネルギー生産量	万TJ	2021 (R3)	3.0	2022 (R4)	3.0	2023 (R5)	3.1	2027 (R9)	3.7

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	1,536,504	22,927,802	93,415	24,557,721	0	18,401,373	66
R5年度	4,548,298	23,584,339	33,502	28,166,139	0	21,548,386	63
R4年度	1,606,666	13,364,905	441	14,972,012	0	8,743,803	66

事業番号	13 01 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	電気事業	部局	企業局	課・室	電気事業課	

7 主な取組実績と成果

① 未来への投資

- 新規発電所の建設 7か所（設計中含む）
- 調査中の候補地点 6か所
- 既存発電所の大規模改修 6か所



新規建設中の発電所



大規模改修中の発電所

② 先端技術の大胆な活用・リスクマネジメント

- 次世代監視制御ネットワークを活用して
監視制御のスマート化を実現した発電所数 4か所



複数の発電所を一括して
監視制御する中央制御所

③ 地域への貢献・地域との連携

- 自立運転可能な発電所立地市町村数 8か所
- 新規電源開発等を計画する市町村等に対し、
調査・設計・建設等の技術支援の実施
- 「水の恵みを未来へつなぐ交付金」を交付した市町村数 9か所
- 一般会計への繰出し
こどもの未来支援積立金、地方創生積立金を活用



非常時に地域住民が
利用可能なコンセント



流量調査による
市町村技術支援

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	内容	R5年度推移	→	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
指標 ①-1	企業局の電力量で賄える県内世帯の割合					達成状況	未達成
令和6年度は前年度から引き続き新しい水力発電所の建設や既存発電所の大規模改修を行っており、それら発電所の運転開始により電力量が増加した。一方、美和ダムの工事の遅れに伴い、美和発電所の運転開始時期に遅れが発生した影響等により目標値は未達成となった。「長野県公営企業経営戦略」において設定した目標に向けて、取り組みを継続していく。							
指標 ①-2	総発電所数					達成状況	達成
令和6年度は、前年度から引き続き建設を実施していた新規発電所のうち、森泉湯川発電所、金峰山川発電所の2か所が運転を開始した。							
指標 ①-3	大規模改修を行う発電所数（工事着工）					達成状況	達成
令和6年度は、前年度から引き続き大規模改修を実施した。今後も計画的に大規模改修工事を行うことができるよう検討を進めていく。							
指標 ②③	自立運転可能な発電所立地市町村数					達成状況	達成
令和6年度は、新たに金峰山川発電所（川上村）、森泉湯川発電所（御代田町）及び与田切発電所（飯島町）の3町村において自立運転が可能となった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> 発電所の平均的な償却年数（建設から40年）を経過した発電所の計画的な老朽化対策が必要。 自立運転可能な発電所を整備し、災害時における電力供給体制の強化が必要。
(2) 事業改善の方策
<ul style="list-style-type: none"> 経営の安定化を図りながら、再生可能エネルギーの供給を拡大するため、改修期間中の減収の影響、発電所の経済性の検討等、経営的な観点を考慮した、バランスの取れた設備投資を継続することが必要。

事業番号	13 01 01	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	電気事業		部局	企業局	課・室
					電気事業課

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	電気事業		8,743,803 千円	21,548,386 千円	18,401,373 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域に貢献する電源開発の推進	直接 委託	再生可能エネルギーの供給拡大のため、新規発電所の建設、既存発電所の大規模改修、市町村等の開発支援（小水力発電事業性評価や建設工事の受託、水力発電推進研究会）等を実施 新規電源開発：設計・建設：7か所 大規模改修：設計・改修：6か所		
2	災害時（非常時）における電力供給体制の検討等	直接 委託	・停電時にも自立運転可能な発電所の整備 ・災害時に地域の防災拠点等への電力供給を可能にするため、地域連携マイクログリッド構築に向けた検討を実施（実施スキームの検討・発動ルールの作成等） 自立運転可能な発電所数の増加：4か所		
3	次世代監視制御ネットワークを活用したスマート化の推進	直接 委託	先端技術を活用して発電の効率化とリスクマネジメントを行うため、次世代監視制御ネットワークを活用したスマート保安を推進 次世代監視制御ネットワークに新たに取り込む発電所数：4か所		